㊼認定ＮＰＯ法人ハーモニィカレッジ（鳥取市）

地域のミライをみんなでつくろう！
ミラ・クル・とっとり運動

安心感の中で心と体を育む

ＪＲ鳥取駅から車で約30分、鳥取市越路の山道を上るとクラブハウスが見えてくる。敷地内では馬が草をはむ。来年30周年を迎えるハーモニィカレッジは馬との関わりを通じて子どもの生きる力を育んでいる。

同法人が運営する認定こども園「ぱっか」には2～5歳の子どもが保護者と登園。スタッフが変わらぬ笑顔で迎える。山々に囲まれて元気に遊び、厩舎（きゅうしゃ）の馬の餌をみんなで用意。背丈の何倍もある馬とすっかり「お友達」だ。

ぱっかの前身「牧場ようちえんぱっか」を始めたのは約10年前。不登校や引きこもりで苦しむ家庭がどうすれば心の重荷を下ろせるか。幼児期に「あなたのままでいいんだよ」と大人が肯定し、絶対的な安心感の中で「失敗できる」体験をさせてあげたい。それが出発点だった。



『根っこ』は見えにくいけど大切なのでしっかり育てたい」と大堀理事長。左奥がクラブハウス、右奥が厩舎

経験の豊かなスタッフが安全にも気を配る。大堀貴士理事長(53)は「安心感があると子どもは『やってみたい』が出てくる。失敗から『自分を守る力』や『できないことを誰かとやる力』がつく」と話す。

不登校の小中学生が通うフリースクール「まなび～馬」も運営。安心感をここでも大切にする。専任スタッフや仲間との語り、馬との関わりを通し、抑えていた「自分」の気持ちに素直になれるという。

学童期・思春期の子どもと保護者の居場所づくり事業「空山ポニーパーク」も展開。自然の中の「遊び」を大切にしている。

同法人は、鳥取県がふるさと納税の仕組みを活用して地域づくり団体を応援する「ギフ鳥」の寄付対象団体にも登録され、活動への寄付を募っている。

▲「ギフ鳥」はこちらへ

(C) 新日本海新聞社　無断複製・転載を禁じます